

2023年4月26日

株式会社タチエス
社外取締役 木下 俊男 様

株式会社ストラテジックキャピタル
代表取締役 丸木 強



政策保有株式に係る不合理な経営判断に対する社外取締役の監督義務について

弊社及び弊社が運営するファンド（以下「弊社」といいます。）は株式会社タチエス（以下「タチエス」といいます。）の大株主です。弊社が本年度の定時株主総会（以下「本総会」といいます。）に提出した下記株主提案に関し、タチエスの取締役会においてご賛同の意見表明をしていただきたく、本書簡をお送りしております。

記

本総会において、弊社は全 3 議案の株主提案を行っておりますが、本書簡では特にトヨタ紡織株式会社（以下「トヨタ紡織」といいます。）株式の現物配当を求めた株主提案について、社外取締役としての監督義務を発揮していただきたく存じます。

弊社は、タチエスが保有する全政策保有株式の速やかな処分を求めています。しかし、タチエスの政策保有株式の処分が一向に進まないことを考慮し、まずは最も金額が大きいトヨタ紡織株式会社について、株主還元にもつながる現物配当とすることを本総会に提案しております。

タチエスは、トヨタ紡織株式の保有目的を「取引関係の維持・強化」と開示していますが、トヨタ紡織は、2021年10月29日の決算発表における質疑応答において、「取引と当社の株式保有の有無は一切関係ない」と明言しています。このように、トヨタ紡織が公の場で取引と株式保有の関係を否定している以上、タチエスが開示するトヨタ紡織株式の保有目的は事実無根というべきですが、このような発言を知ってなお、昨年株主総会において、山本社長は「我々が将来、ビジネスを拡大・継続するために必要」と主張しています。弊社としては、「取引関係の維持・強化」が取引先から公に否定されてなお期待できるものとは到底考えられず、山本社長は政策保有株式について適切な判断を行えていないと考えております。

また、山本社長の主張には、トヨタ紡織の姿勢も影響している可能性があります。トヨタ紡織の株式は、その 58.8%が政策保有株主とトヨタグループによって未だに保有されております。この状況は、トヨタ紡織がタチエスを含めた政策保有株主に対して政策保有の継続を要請しており、タチエスがその要請に応じているのではないかとの疑念を招きかねません。

そもそも、取締役には、代表取締役の意思決定や業務執行を監視・監督する義務があります。社外取締役であれば尚更、その独立した立場から、代表取締役その他の業務執行者を監視・監督する役割が期待されます。

トヨタ紡織株式の件に限らず、常勤取締役の意思決定や業務執行に不合理なものが無いか監視・監督するという、社外取締役としての職務を全うしていただけますよう、強くお願い申し上げます。

以上

2023年4月26日

株式会社タチエス
社外取締役 三原 秀哲 様

株式会社ストラテジックキャピタル
代表取締役 丸木 強



政策保有株式に係る不合理な経営判断に対する社外取締役の監督義務について

弊社及び弊社が運営するファンド（以下「弊社」といいます。）は株式会社タチエス（以下「タチエス」といいます。）の大株主です。弊社が本年度の定時株主総会（以下「本総会」といいます。）に提出した下記株主提案に関し、タチエスの取締役会においてご賛同の意見表明をしていただきたく、本書簡をお送りしております。

記

本総会において、弊社は全 3 議案の株主提案を行っておりますが、本書簡では特にトヨタ紡織株式会社（以下「トヨタ紡織」といいます。）株式の現物配当を求めた株主提案について、社外取締役としての監督義務を発揮していただきたく存じます。

弊社は、タチエスが保有する全政策保有株式の速やかな処分を求めています。しかし、タチエスの政策保有株式の処分が一向に進まないことを考慮し、まずは最も金額が大きいトヨタ紡織株式会社について、株主還元にもつながる現物配当とすることを本総会に提案しております。

タチエスは、トヨタ紡織株式の保有目的を「取引関係の維持・強化」と開示していますが、トヨタ紡織は、2021年10月29日の決算発表における質疑応答において、「取引と当社の株式保有の有無は一切関係ない」と明言しています。このように、トヨタ紡織が公の場で取引と株式保有の関係を否定している以上、タチエスが開示するトヨタ紡織株式の保有目的は事実無根というべきですが、このような発言を知ってなお、昨年株主総会において、山本社長は「我々が将来、ビジネスを拡大・継続するために必要」と主張しています。弊社としては、「取引関係の維持・強化」が取引先から公に否定されてなお期待できるものとは到底考えられず、山本社長は政策保有株式について適切な判断を行えていないと考えております。

また、山本社長の主張には、トヨタ紡織の姿勢も影響している可能性があります。トヨタ紡織の株式は、その 58.8%が政策保有株主とトヨタグループによって未だに保有されております。この状況は、トヨタ紡織がタチエスを含めた政策保有株主に対して政策保有の継続を要請しており、タチエスがその要請に応じているのではないかとの疑念を招きかねません。

そもそも、取締役には、代表取締役の意思決定や業務執行を監視・監督する義務があります。社外取締役であれば尚更、その独立した立場から、代表取締役その他の業務執行者を監視・監督する役割が期待されます。

トヨタ紡織株式の件に限らず、常勤取締役の意思決定や業務執行に不合理なものが無いか監視・監督するという、社外取締役としての職務を全うしていただけますよう、強くお願い申し上げます。

以上

2023年4月26日

株式会社タチエス
社外取締役 永尾 慶昭 様

株式会社ストラテジックキャピタル
代表取締役 丸木 強



政策保有株式に係る不合理な経営判断に対する社外取締役の監督義務について

弊社及び弊社が運営するファンド（以下「弊社」といいます。）は株式会社タチエス（以下「タチエス」といいます。）の大株主です。弊社が本年度の定時株主総会（以下「本総会」といいます。）に提出した下記株主提案に関し、タチエスの取締役会においてご賛同の意見表明をしていただきたく、本書簡をお送りしております。

記

本総会において、弊社は全 3 議案の株主提案を行っておりますが、本書簡では特にトヨタ紡織株式会社（以下「トヨタ紡織」といいます。）株式の現物配当を求めた株主提案について、社外取締役としての監督義務を発揮していただきたく存じます。

弊社は、タチエスが保有する全政策保有株式の速やかな処分を求めています。しかし、タチエスの政策保有株式の処分が一向に進まないことを考慮し、まずは最も金額が大きいトヨタ紡織株式会社について、株主還元にもつながる現物配当とすることを本総会に提案しております。

タチエスは、トヨタ紡織株式の保有目的を「取引関係の維持・強化」と開示していますが、トヨタ紡織は、2021年10月29日の決算発表における質疑応答において、「取引と当社の株式保有の有無は一切関係ない」と明言しています。このように、トヨタ紡織が公の場で取引と株式保有の関係を否定している以上、タチエスが開示するトヨタ紡織株式の保有目的は事実無根というべきですが、このような発言を知ってなお、昨年株主総会において、山本社長は「我々が将来、ビジネスを拡大・継続するために必要」と主張しています。弊社としては、「取引関係の維持・強化」が取引先から公に否定されてなお期待できるものとは到底考えられず、山本社長は政策保有株式について適切な判断を行えていないと考えております。

また、山本社長の主張には、トヨタ紡織の姿勢も影響している可能性があります。トヨタ紡織の株式は、その 58.8%が政策保有株主とトヨタグループによって未だに保有されております。この状況は、トヨタ紡織がタチエスを含めた政策保有株主に対して政策保有の継続を要請しており、タチエスがその要請に応じているのではないかとの疑念を招きかねません。

そもそも、取締役には、代表取締役の意思決定や業務執行を監視・監督する義務があります。社外取締役であれば尚更、その独立した立場から、代表取締役その他の業務執行者を監視・監督する役割が期待されます。

トヨタ紡織株式の件に限らず、常勤取締役の意思決定や業務執行に不合理なものが無いか監視・監督するという、社外取締役としての職務を全うしていただけますよう、強くお願い申し上げます。

以上